

IT部門が時間の節約とハイブリッドワークの向上を実現する方法

LOGI DOCK : ハイブリッドワークの問題点に効果的な一体型ソリューション

logicool



はじめに

2020年にパンデミックが発生したとき、ほとんどの企業がリモートワーク戦略を有しておらず、大半の従業員はリモートワークの経験をほとんど、あるいはまったく持ち合わせていませんでした。何百万というナレッジワーカーが、在宅勤務に適したツールやガイダンスのないまま自宅で働くことになりました。

実際、Futuresource社による最新の報告では、調査対象となった在宅勤務中の従業員のうち、自宅に仕事専用スペースを確保している従業員は36%に留まっています。¹残念ながら、適切なツールやガイダンスがなければ、自宅や外出先で効果的または生産的な作業をすることはほぼ不可能です。多くの従業員が、最善を尽くしているにもかかわらず、準備不足や生産性の低下、仕事場の環境に悩まされているようです。

現在まで話を進めると、ハイブリッドワークが標準になっており、多くの従業員がウェブカメラなどのリモートワークツールを所有しています。一方で、リモートワーカーとオフィスワーカーの両方に一貫して公平な会議体験を提供するにはどうすればよいか、またIT部門はどうすれば公平な会議を簡単かつ効率的に提供できるか、という問題が長らく存在しています。

そこで、このホワイトペーパーでは以下について詳述します。

- 不完全で不満が残るハイブリッドワーク体験が、IT部門と従業員のどちらにも悪影響を及ぼしている現状。
- 今が、在宅勤務中の従業員をさらに手厚くサポートして自主性を促す時であると言われる理由。
- リモートとオフィスの間で会議体験のつりあいが取れるよう、IT部門が全員に公平な会議を提供する方法。
- IT部門の時間を節約し、同時にハイブリッドワークを長期的に持続可能なものにする方法。

不完全なハイブリッドワーク体験がエンドユーザーとIT部門の両方に悪影響を及ぼす理由

ハイブリッドワークに付随する問題点は、エンドユーザーだけでなくIT部門にも悪影響をもたらします。Wainhouse Research社は、多くの企業がハイブリッドワーカーに対するサポートの改善方法を模索するようになるかと予測しています。²ハイブリッドワークの環境作りに適切な考慮が払われていない場合、問題が発生します。代表的なものをいくつか見てみましょう。

- **散らかったデスクが招く生産性の低下**：もつれたコードや互換性のないデバイスでデスクが散らかっている場合、従業員は集中して作業を行うことが難しくなります。プリンストン大学神経科学研究所の科学者たちは、fMRIなどの手法によってこのことを裏付け、Harvard Business Review誌上で発表しました。記事によると、人間の脳は秩序を好み、無秩序状態であることが見て分かるような状態では認知資源が消耗し、集中力が低下するとのこと。また、同調査では、ワークスペースを整理した被験者の生産性が向上しました。³
- **会議参加率の低下**：従業員が会議に招待されるのは、従業員の貴重な意見を活かすためです。しかし、標準に満たないビデオ会議ツールは参加に支障をきたします。たとえば、マイクの音量が小さすぎると声が聞き取りにくく、低解像度のウェブカメラでは同僚がはっきりと見えません。
- **IT部門の時間的負荷の増大**：ビデオ会議ツールの問題は従業員側で解決してもらうのが理想です。しかし、不適切なツールが使用されている状況では、過剰な数のトラブルチケットがIT部門に届くことになります。これが原因で、優先順位の高い、よりミッションクリティカルなタスクに費やすべきであるIT部門の時間が、失われてしまいます。



もつれたケーブルにデスクを占領され、仕事に集中するのが難しくなる場合があります。

● **ニーズを統合するためのユニバーサルなソリューションの欠如**：あらゆる組織のIT部門で、ドッキングステーション、ハブ、電源、AVケーブル/コネクタといった周辺機器を寄せ集めるように調達してはいても、在宅勤務の現実に即して設計されたコンポーネントはおそらく調達していません。そのため、リモートで働くチームは、こうした寄せ集めの周辺機器をすべて自分でセットアップしています。この状況にリモートで対処しようとするれば、IT部門に多くの問題が発生するでしょう。それには以下のような原因が考えられます。

- Macユーザーの必要とするツールがWindowsユーザーとは異なっていること。
- 最新のノートPCが古いノートPCとは異なるポートを備えていること。
- リモートで働く従業員がすべてのツールを自分でセットアップしなければならないこと。その状況がトラブルチケットの作成につながり、IT部門にリモートでの問題解決を余儀なくさせる。

問題が解決できないと、最終的に従業員の疲弊や離職につながるおそれがあります。在宅勤務での嫌な経験が原因で、従業員が混乱してくじけてしまうことがあるからです。在宅勤務には、もともと無秩序な側面があります。ほとんど構造化されていないためです。従業員は、疲弊が解決されない場合、より快適な作業環境を求めて他の職場を探すようになるかもしれません。しかし幸い、こうした問題はIT部門が解決できます。

IT部門が在宅勤務体験を改善できる

現在、ほとんどのナレッジワーカーがさまざまなソリューションを使用して在宅勤務をしており、多くの企業がハイブリッドワークを無期限に継続することを検討しています。このような状況から、在宅勤務も1つの「ライフスタイル」になり始めています。それにもかかわらず、自宅の作業環境の構築は今でもほとんど従業員が行っており、その出来にはばらつきがあります。

在宅勤務を長期間持続可能にするには、その「従業員に依存」した側面をコントロールする必要があります。従業員は、シンプルで効率的に使えるだけでなく、自分だけのニーズや会議の傾向に合ったツールを必要としています。

ハイブリッドワークの頭痛の種を解決できるのはIT部門なのです。IT部門が、従業員が適切なツールを使用できるようにすることで、従業員は自分のリモートワーク デスクトップを構築、管理できるようになります。これにより、IT部門はより大きなプロジェクトに取り組む時間を確保できます。

適切なソリューションを提供することにより、従業員の離職を抑えられるうえ、IT部門の方も主要な仕事に注力できるようになるのです。つまり、誰もがあらゆる場所で快適かつ確実に仕事を遂行できるようになります。

リモートとオフィス内の中で会議体験のバランスを取る

在宅勤務体験を改善するためのソリューションを検討する際には、バランスを考慮しましょう。組織は、すべての従業員がどこにいても公平なコラボレーションを体験できるようにする必要があります。少数の従業員を週に1回在宅勤務させる形でハイブリッドワークを試してみる場合にも、ハイブリッドワークを完全に採用してほとんど毎日全員を在宅勤務にする場合にも、同じことが言えます。ホームオフィスから会議に参加する人が、オフィスにいる参加者と同じレベルで参加および貢献できなければなりません。

公平なハイブリッド会議を可能にするためには、以下の点が重要です。

- **簡単に使用できる会議コントロール**：ビデオ会議用の機器/ソフトウェアは、シンプルで直感的かつ確実にコントロールできるものでなければなりません。ビデオ会議システムが使いやすいと、経歴、能力、場所に関係なく、誰もが簡単に会議に参加して、スムーズに議論を進行できます。
- **ビジネスグレードのオーディオ/ビデオ機器の連携**：コンシューマーグレードのデバイスが無秩序に採用すると、自宅のデスクが乱雑になり、技術的な難題やフラストレーションを抱えることとなります。そうした従業員があまりにも多いのが現状です。従業員が使用するデバイスは、ビデオ会議中の連携や安定した接続に対応していない場合があります。シームレスに連携するビデオ会議ツールが必要です。従業員がトラブルシューティングではなく、ディスカッションに集中できるようにしなければなりません。
- **使用するビデオ会議プラットフォームで認定された会議ツール**：コラボレーション デバイスは、ほとんどの場合、使用したいビデオ会議プラットフォームと連携するだけでは不十分です。一貫性があり信頼性の高い体験を実現するには、それぞれのプラットフォームに特化していて、認定されている必要があります。そうしたツールを導入すれば、チームの全員が同じように簡単に通話に参加できます。
- **使いやすい会議ツール**：ビデオ会議デバイスの使用方法を学ぶのに、コンピュータサイエンスの学位を取得する必要はありません。IT部門によるトレーニングをほとんど、またはまったく必要としない、プラグ&プレイソリューションが必要です。
- **各個人のニーズに合わせて会議体験をカスタマイズする機能**：従業員は、自分のニーズや好みに合わせて設定できる会議ツールを望んでいます。

これらの要件を満たし、公平な会議体験を迅速かつ簡単に実現できる一体型ソリューション、それが Logi Dock です。



Logi Dockは、デスクトップの問題点に効果的な一体型ソリューションです。

LOGI DOCKの概要

ロジクールは、リモートワーク デスクトップ体験を簡素化する方法の考案に着手したとき、単なるドッキングステーション以上のものを開発する必要があることを理解していました。デスクトップの整理から、ビデオ会議の質の向上、IT部門の負担軽減に至るまで、ハイブリッドワーク体験を改善したかったのです。一方で、シンプルさを最優先する必要がありました。法外なコスト、骨の折れる導入作業、従業員向けの広範なトレーニングなどが不要で、在宅勤務の環境作りと体験を促進するユニバーサル ソリューションの必要性を認識していたためです。さらに、ハイブリッドワークやハイブリッド会議を、直接対面と同じレベルかそれ以上のものにしたいと考えていました。その結果生まれたのがLogi Dockです。

ハイブリッドワーカーのために開発されたLogi Dockは、デスク周辺の余分な配線、アダプタ、電源プラグを整頓する、一体型ドッキングステーションです。巧みな会議コントロール機能とプロフェッショナル品質のスピーカーフォンを備え、使いやすく、導入やセットアップも簡単です。主要なビデオ会議プラットフォームで認定されており、それらとシームレスに連携できて、周辺機器とのワイヤレス ペアリングも可能です。ITチケットを減らし、従業員がどこにいても生産性を高めます。

- **Logi Dockを開発した理由** : Logi Dockは、シームレスな在宅勤務システムを可能にする主要コンポーネントとして開発されました。IT部門が本製品を購入するだけで、リモートワーク環境の構築が簡単になり、シンプルな会議コントロールが提供されます。ユーザーは自宅のワークスペースを最適化して、生産性を上げることができます。
- **Logi Dockとは** : Logi Dockはホームオフィス環境を簡素化するドッキングステーションです。最大5台のUSB周辺機器と2台のモニターの接続/充電に対応しており、不要な充電器や電源コードをなくしてデスクまわりをすっきりと片付けます。Mac、PC、Chromebookのいずれを使用する場合でも、Logi Dockによってホームオフィスが効率化されるため、従業員はより生産的に作業することができます。

つまり、Logi Dockはハイブリッド会議体験の強化に特化しており、効率的で公平なコラボレーションを実現できます。

LOGI DOCKがハイブリッドワークを改善する仕組み

Logi Dockは、ワンタッチ会議コントロールと組み込みのスピーカーフォンを備えた、一体型ドッキングステーションです。ホームオフィス環境を簡素化し、デスクトップをすっきりさせ、生産性を高めます。同時にIT部門の負担も軽減します。Logi Dockの機能がハイブリッドワーク体験の向上にどのように役立つかについてご説明します。

- **機能豊富なドッキングステーション** : Logi Dockには最大5台のUSB周辺機器と最大2台のモニターを接続でき、同時に最大100ワットのノートPCをつないで充電できます。これにより、デスクをすっきりとした状態に保つことができます。

- **視覚的なアラートを発する便利な会議コントロール** : ハイブリッドワーク中の会議参加者には、カレンダーへの招待を見逃して出席が遅れたり、自宅で急な邪魔が入り慌ててミュートボタンを押す必要に迫られたりするなど、多くの障壁があります。Logi Dockを使用すると、従業員はデバイスのミュートボタン、音量ボタン、ビデオボタンを押すことで、オーディオとカメラをワンタッチで制御できます。Logi Dockと[Logi Tune](#)を組み合わせれば、アンビエントライトから、予定されたビデオ通話の通知を受けることもできます。



Logi Dock (グラフィイト) 発売中

- **ノイズキャンセリングスピーカーフォン** : Logi Dockを使用すると、ユーザーはドッキングステーションに直接話せるようになり、通話のたびにヘッドセットを装着する必要がなくなります。Logi Dockの内蔵スピーカーフォンは、6本のビームフォーミングマイクを備えており、ユーザーの声をはっきりと捉えます。また、高度なアルゴリズムが周囲の騒音を抑制し、会議中の声を聞き取りやすくします。
- **没入型サウンド** : 巧みに調整されたLogi Dockのスピーカーは、没入型の驚くほど鮮やかなサウンドを実現します。従業員は、通話の合間にお気に入りの音楽やポッドキャストを楽しめます。Logi Dockでは、Bluetooth®を介してスマートフォンまたはタブレットとペアリングしてオーディオをストリーミングすることもできます。
- **「認定済み」という安心** : Logi Dockは、Microsoft Teams®、Google Meet™、Zoom™などの主要なビデオ会議プラットフォームで認定されており、これらとシームレスに連携します。従業員はワンタッチですぐにあらゆる会議に参加できます。
- **1つ購入するだけのシンプルな導入** : 使いやすい一体型ソリューションであるLogi Dockは、すばやく使用を開始できます。従業員のトレーニングはほとんど、またはまったく必要ありません。Logi Dockを使用すると、ユーザーは技術面で煩わされることなく会議を制御できます。そのためIT部門では、従業員が使用しているデバイスのサポートチケットが減ることになるでしょう。



ワンタッチで会議に参加したり、音声を調整したり、ビデオをオン/オフしたりできます。



Logi Dockの没入型スピーカーは、会議、ポッドキャスト、音楽再生に対応しています。

他のドッキングステーションが持つ欠点

チームですでにドッキングステーションを使用している場合、または現在販売されているドッキングステーションを比較検討中である場合、他社製品の中にも目的に合ったものが見つかるかもしれません。しかし、それらには何かしらの制限があります。

マルチタスクに対応していない：Logi Dockは第一にドッキングステーションなのですが、パワフルな一体型ソリューションでもあり、従業員とIT部門、両方のハイブリッドワーク体験を総合的に高めます。Logi Dockに搭載された会議コントロールとリモート管理機能に相当する機能を競合ドッキングステーションで実現するには、複数のデバイスを導入する必要があります。

リモートで管理できない：他のドッキングステーションは中央管理プラットフォームに接続していません。つまり、実際に使用されているかの確認、ファームウェア更新のリモート配信、エラーレポートの取得ができないため、従業員のトラブルチケットを簡単に解決するための助けにはなりません。

Logi Dockよりもポートが少ない：売り上げ上位のドッキングステーションのほとんどが、USBポートを3~4基しか備えていません。一方でLogi Dockは、最大5台のUSB周辺機器に対応しているため、より多くのデバイスを接続、充電でき、生産性を高めます。

ロジクールは、これらの欠点を単独で克服したデバイスを開発しました。Logi Dockによってハイブリッドワークがシンプルかつ効率的になり、組織全体の生産性が向上します。



Logi Dockは、すべての人のハイブリッドワークを改善します。

まとめ

- 機器が最適でない場合や、ケーブルが絡まってデスクが乱雑になっている場合、リモートで働く従業員が会議で活躍できず、生産性が低下するおそれがあります。そうなれば、貴重な会議時間が無駄になり、IT部門はデバイスのトラブルシューティングに時間を取られてしまいます。
- ハイブリッド コラボレーションを最大限に活用するには、組織はリモートとオフィス内の作業環境のバランスを取り、すべての人に公平な会議体験を提供する必要があります。
- Logi Dockは、従業員とIT部門、両方のハイブリッドワーク体験を改善することに特化した一体型ソリューションです。IT部門は、Logi Dockによって在宅勤務体験を改善することができます。
- Logi Dockは、周辺機器やモニターの接続/充電に対応した十分な数のポート、パワフルなスピーカーフォン、シンプルなワンタッチ会議コントロールを特徴としています。従業員がどこにいても最高のパフォーマンスを発揮するのに役立ちます。また、簡単に導入できて、監視や更新をSyncによってリモートで行えます。そのため、IT部門は時間を節約でき、現場を訪れることなく各デバイスを適切に機能させることができます。

Logi Dockの詳細や使用開始の方法については、営業担当やご希望の販売代理店にご連絡ください。デモを設定いたします。

logicool

販売代理店または当社
(www.logicool.co.jp/vcsales)
までお問い合わせください

購入前のお問い合わせ：
株式会社ロジクール
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：
株式会社ロジクール
カスタマーリレーションセンター
<https://prosupport.logi.com/>

Logitech Asia Pacific Ltd.
電話：852-2821-5900
ファックス：852-2520-2230

¹ Futuresource Consulting社の「2021年在宅勤務エンドユーザー調査」によると、在宅勤務の従業員のうち自宅に仕事専用スペースを確保しているのは、わずか36%です。<https://www.futuresource-consulting.com/reports/futuresource-home-working-end-user-survey/>

² Wainhouse Research社によると、COVID時代特有の課題によって多くの組織においてリモートワークの概念が検証されることになった結果、企業がさまざまな形態のリモートワークを実現およびサポートする方法に、永続的な転換が起こりつつあります。<https://insight.wainhouse.com/reportaction/SWVF-Survey21-WorkSetting/Marketing>

³ Harvard Business Reviewより。<https://hbr.org/2019/03/the-case-for-finally-cleaning-your-desk>

このホワイトペーパーは、情報提供のみを目的としています。ロジクールでは、このホワイトペーパーに記載された情報に関して、明示または黙示または法定を問わず、いかなる保証も行いません。このホワイトペーパーは「現状有姿」で提供され、ロジクールによって随時更新される可能性があります。最新版は [ロジクールウェブサイト](#) でご覧ください。

©2022 Logitech, Logicool. All rights reserved.

2022年2月発行